



長崎基署発 0606 第 1 号

令和 6 年 6 月 20 日

関係団体の長 殿

長崎労働基準監督署長



### 職場における死亡災害撲滅に向けた緊急要請について

労働災害の防止につきましては、平素より格別のご協力を賜り深く感謝申し上げます。

長崎労働基準監督署では、第 14 次労働災害防止計画（令和 5 年度～令和 9 年度）において、死傷災害を減少に転じさせることを目標として、業種別の労働災害防止対策を推進することなどに取り組んでいます。

しかしながら、当署管内における労働災害による死亡者数につきまして、本年 1 月から 5 月までの間に 4 人の尊い命が失われたことにより、既に昨年 1 年間の死亡者数 4 人に並び、仮にこのままの傾向で推移した場合には平成 26 年以降最多となり、極めて憂慮すべき事態となっております。

このため、当署では、死亡災害多発に伴う緊急対策として、労働災害防止団体等への労働災害防止の取り組み強化にかかる要請、建設工事現場への合同の安全パトロールの実施及び労働災害防止を主眼とした個別指導の集中的な実施の3つの取り組みを行うこととしました。

つきましては、貴職におかれましても、労働災害防止対策等が労働者一人ひとりに浸透するよう、別添のリーフレット等を活用し、傘下の会員事業場等の関係者に対し周知の徹底を図っていただきますようお願い申し上げます。

なお、貴職で行った取組みにつきまして、別紙「職場における死亡災害撲滅に向けた緊急要請について」に対する取組状況」により、令和 6 年 7 月 26 日（金）までに報告いただきますようお願いいたします。

令和 6 年死亡災害発生状況（長崎労働局）

（5月末現在）

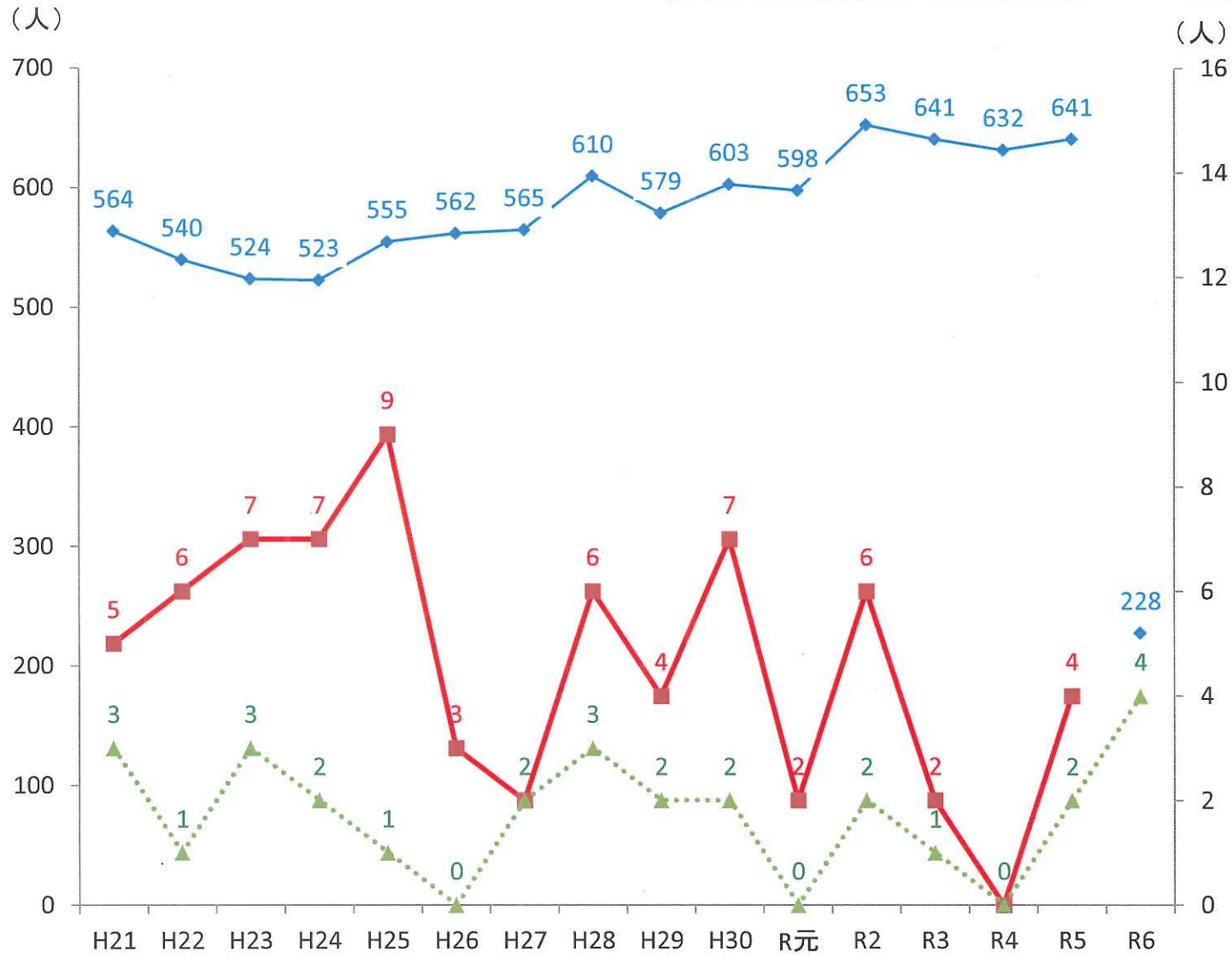
注）イラスト出典元：職場のあんぜんサイト

番号	発生年月	被災者 職種 年齢等	発生状況の概要		業種 起因物 事故の型	管轄署
1	6.1	男	建造中のケミカルタンカーのタンク底部に倒れている被災者を発見し、その後死亡を確認したもの。発見時の状況から、タンク内の昇降設備から約1.2m墜落したものと推測される。		製造業 (造船業) はしご等 墜落、転落	長崎
		作業員				
		44歳				
2	6.3	男	建造中のケミカルタンカーのタンク内で溶接作業を行っていたところ、タンク内で火災が発生し、タンク内で作業を行っていた労働者1名が死亡したもの。		製造業 (造船業) 溶接装置 高温・低温の物との接触	長崎
		作業員				
		34歳				
3	6.4	男	岸壁において、船舶の汚水を汚水処理船に受け入れ、汚水処理船で処理を行っていた労働者（2名）が、汚水処理槽内に入り死亡したもの（硫化水素中毒の疑い）。		清掃・と畜業 有害物 有害物等との接触	佐世保
		作業員				
		54歳				
4	6.4	男	岸壁において、船舶の汚水を汚水処理船に受け入れ、汚水処理船で処理を行っていた労働者（2名）が、汚水処理槽内に入り死亡したもの（硫化水素中毒の疑い）。		清掃・と畜業 有害物 有害物等との接触	佐世保
		作業員				
		33歳				
5	6.4	男	工場の解体作業において、解体中の建屋が崩壊し、解体用機械を運転していた労働者が下敷きとなり、死亡したもの。		建設業 建築物、構築物等 崩壊、倒壊	長崎
		作業員				
		41歳				
6	6.5	男	残土処理場においてホイールローダーで走行中に路肩から転落し、ホイールローダーの下敷きとなり死亡したもの。		清掃・と畜業 物上げ装置 運搬機械 墜落、転落	長崎
		作業員				
		67歳				

	合計	管 轄 署 別						業 種 別					
		長崎	佐世保	江迎	島原	諫早	対馬	製造	建設	運 輸 交 通	農 林 水 産	商 業	そ の 他
令和6年	6	4	2				2	1	1				2
令和5年	4	2		1		1	2	1					1

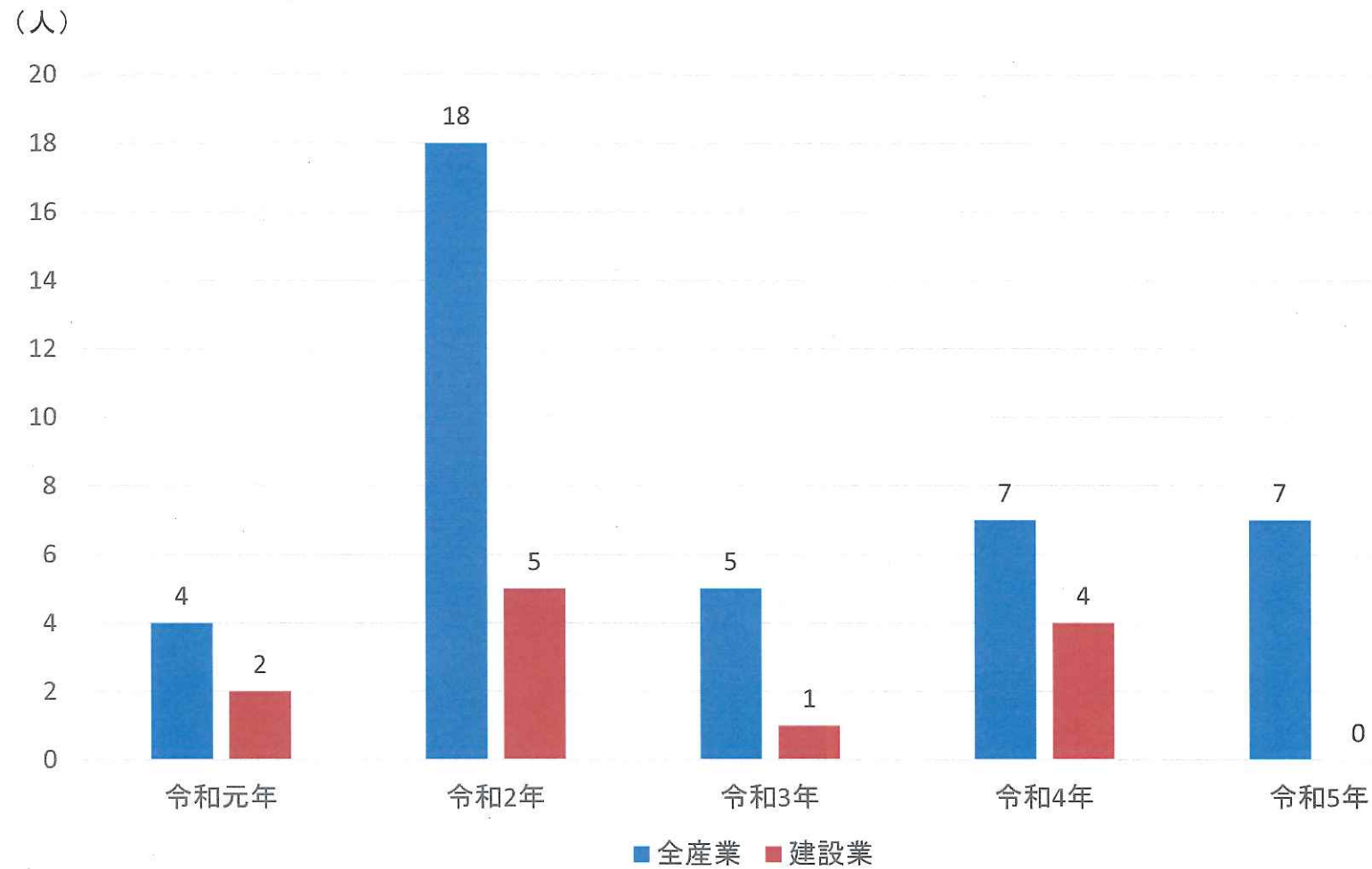
### 長崎署 死傷災害(休業4日以上)・死亡災害の動向

—◆— 死傷者数    —■— 死亡者数    ...▲... 5月末時点



# 長崎監督署管内の熱中症における労働災害状況

(1) 全産業と建設業の熱中症の労働災害件数の比較



# 長崎監督署管内の熱中症における労働災害発生状況

(2) 月別・労働災害発生状況

